



# 取り付け

## 取り付ける前に

- 本機は、トランクルームに水平に取り付けてください。
- 本機を取り付けるには、十分な厚み（15mm以上）と強度をもつ取り付け板が必要です。
- カーベットの下は放熱効果が著しく減少しますのでお避けてください。

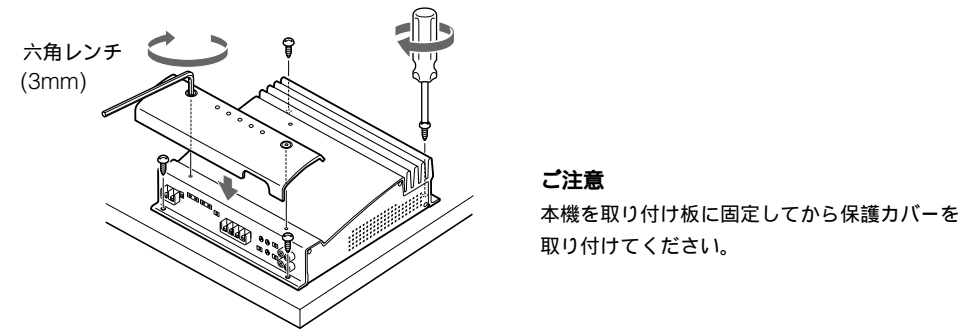
ご自分での取付け、接続が難しいときは、お買い上げ店、またはカーディーラーにご相談ください。

## 取り付けかた

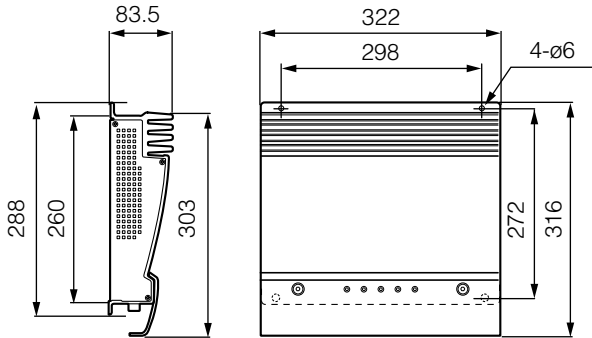
十分な厚み（15mm以上）と強度をもつ取り付け板をご用意ください。  
本機を取り付け板にあて取り付け位置を決め、穴の位置に印をつけます。次に、印をつけたところに直径3mm以内の穴をあけ、付属のビスを使って本機を取り付け板に固定します。

## 保護カバーの取り付け

各つまみやスイッチの設定、各コードの接続が完了したら、図のように付属の六角レンチで保護カバーを取り付けてください。



参考[ 単位 : mm ]



## 故障かな？と思ったら

症状	原因( 処置 )
<b>POWER/PROTECTOR</b> インジケーターが点灯しない。	ヒューズが切れている。→ ヒューズを交換する。 アースコードが接続されていない。 → 車体の金属部にしっかり接続する。 <ul style="list-style-type: none"><li>●本機のリモート端子への入力電圧が発生していない(または低い)。</li><li>●接続しているカーオーディオの電源が入っていない。 → 電源を入れる。</li></ul> バッテリーの電圧が適切であるか( 10.5 ~ 16V )確認する。
<b>OVER CURRENT</b> インジケーターが橙色に点灯する。	スピーカー出力がショートしている。 → ショートの原因を取り除く。
<b>OFFSET</b> インジケーターが橙色に点灯する。	<ul style="list-style-type: none"><li>●電源を切り、スピーカーコードおよびアースコードがきちんと接続されているか確かめる。</li><li>●接続しているカーオーディオのグラウンドが浮いている。</li></ul>
<b>THERMAL</b> インジケーターが橙色に点灯する。	<ul style="list-style-type: none"><li>●適合インピーダンスのスピーカーを使用する。</li><li>●風通しの良い場所へ移設する。</li></ul>
<b>オルタネーターの雑音が入る。</b>	電源コードがRCAピンコードに近い。→ RCAピンコードから離す。 ピンコードが車両ハーネスに近い。→ 離して配線する。 アースが不十分である。→ 車体の金属部にしっかり接続する。 スピーカーの端子が車体に接触している。→ 車体から離す。
<b>HPF、LPF</b> が効かない。	DIRECTスイッチが「ON」になっている。
音が小さい。	LEVELつまみが「MIN」になっている。
音がこもる。	FILTER選択スイッチが「LPF」になっている。
音が出ない。	各選択スイッチが完全に切り替わっていない。
テストトーンが鳴らない。	配線が正しく行われていない。→ 再度接続し直す。

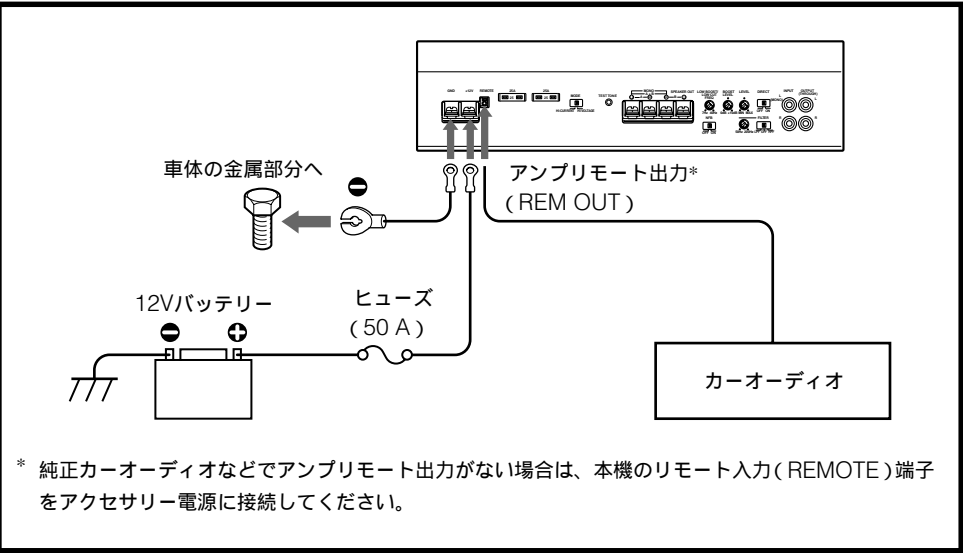
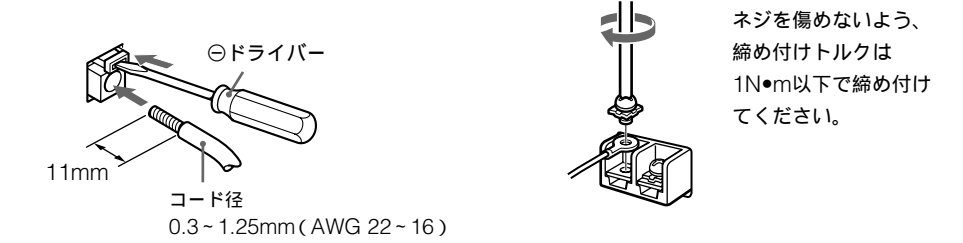
以上の処置を行っても効果が見られないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

# 接続

## 接続する前に

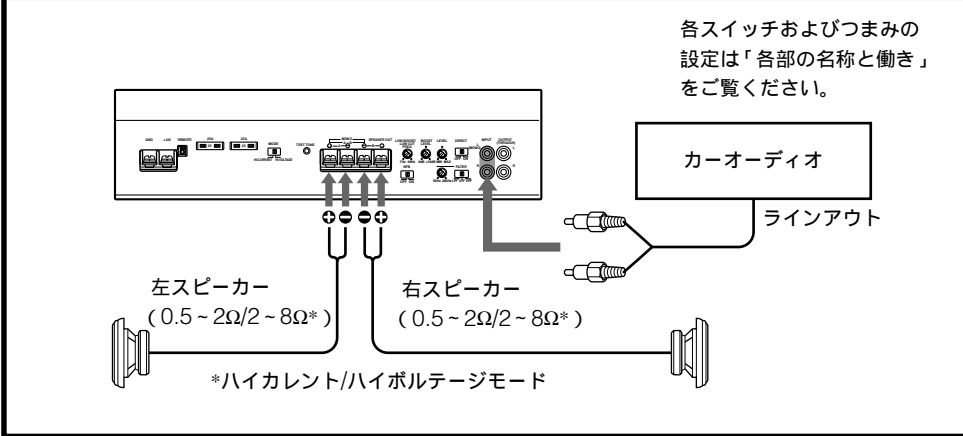
- 作業中のショート事故防止のため、本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションキーをOFFにして行ってください。
- 電源コードは必ず最後に接続してください。
- 入出力コードと電源コードを近づけて配線するとノイズが出ることがありますので、できるだけ離して配線してください。
- 本機はハイパワーアンプのため、車に既設のスピーカーコードを使うと性能が十分に発揮されないことがあります。
- スピーカーの◎側を車のシャーシなどに接続したり、スピーカーの◎側どうしを接続したりすると故障の原因になります。
- 十分な許容入力を持つスピーカーをお使いください。このアンプは大出力が得られますので、許容入力の小さいスピーカーを使用すると、アンプの性能が十分に発揮されないばかりでなく、スピーカーを破損することがあります。
- 適合インピーダンススピーカーをお使いください。  
ハイカレントモード    0.5 ~ 2Ω (ブリッジ接続時1 ~ 4Ω)  
ハイボルテージモード   2 ~ 8Ω (ブリッジ接続時4 ~ 8Ω)
- 本機のスピーカー端子にアクティブスピーカー(アンプ内蔵のスピーカー)を接続しないでください。スピーカーを破損する恐れがあります。
- この取扱説明書(取り付けと接続)に記載されている取り付け、接続先の機器は、全て別売り品(市販品)です。(付属品は除きます。)

下図のように、コードを接続してください。

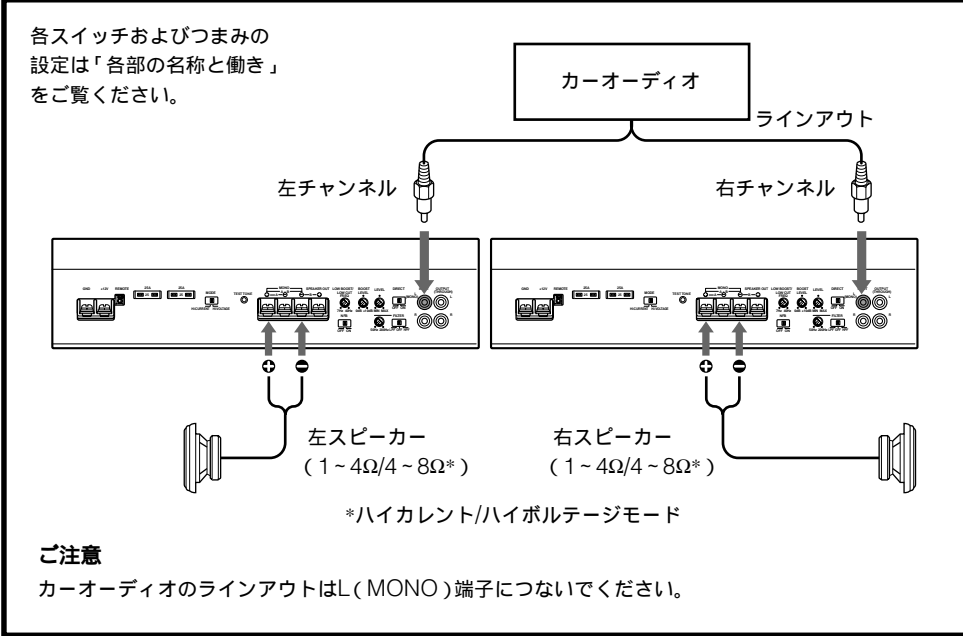


- ご注意**
- 電源コードはすべての接続を済ませてから、一番最後に接続してください。
  - パワーアンプのアースコードは車の金属部分に確実に接続してください。確実に接続しないと、故障の原因になることがあります。
  - カーオーディオのリモート出力コードを本機のリモート入力( REMOTE )に接続してください。カーオーディオにアンプリモート出力がない場合は、車のアクセサリ電源と本機のリモート入力( REMOTE )端子を接続してください。
  - 車のバッテリーから直接電源をとる(車のバッテリーから直接、本機の電源端子( +12V )端子に配線する)場合、使用する配線コードは太さ8ゲージ( AWG-8、断面積8 mm<sup>2</sup> )以上のコードを使用し、可能なかぎりバッテリーに近い位置に必ずヒューズ( 50 A )を配置してください。
  - 別売りの電源コードRC-46をご使用になるときは、そちらの説明書をご覧ください。

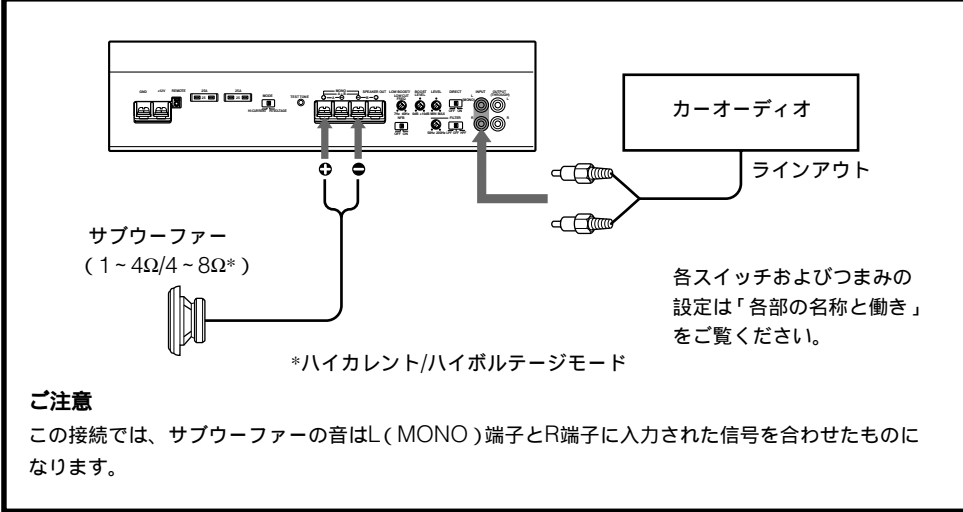
## 2スピーカーシステムの接続



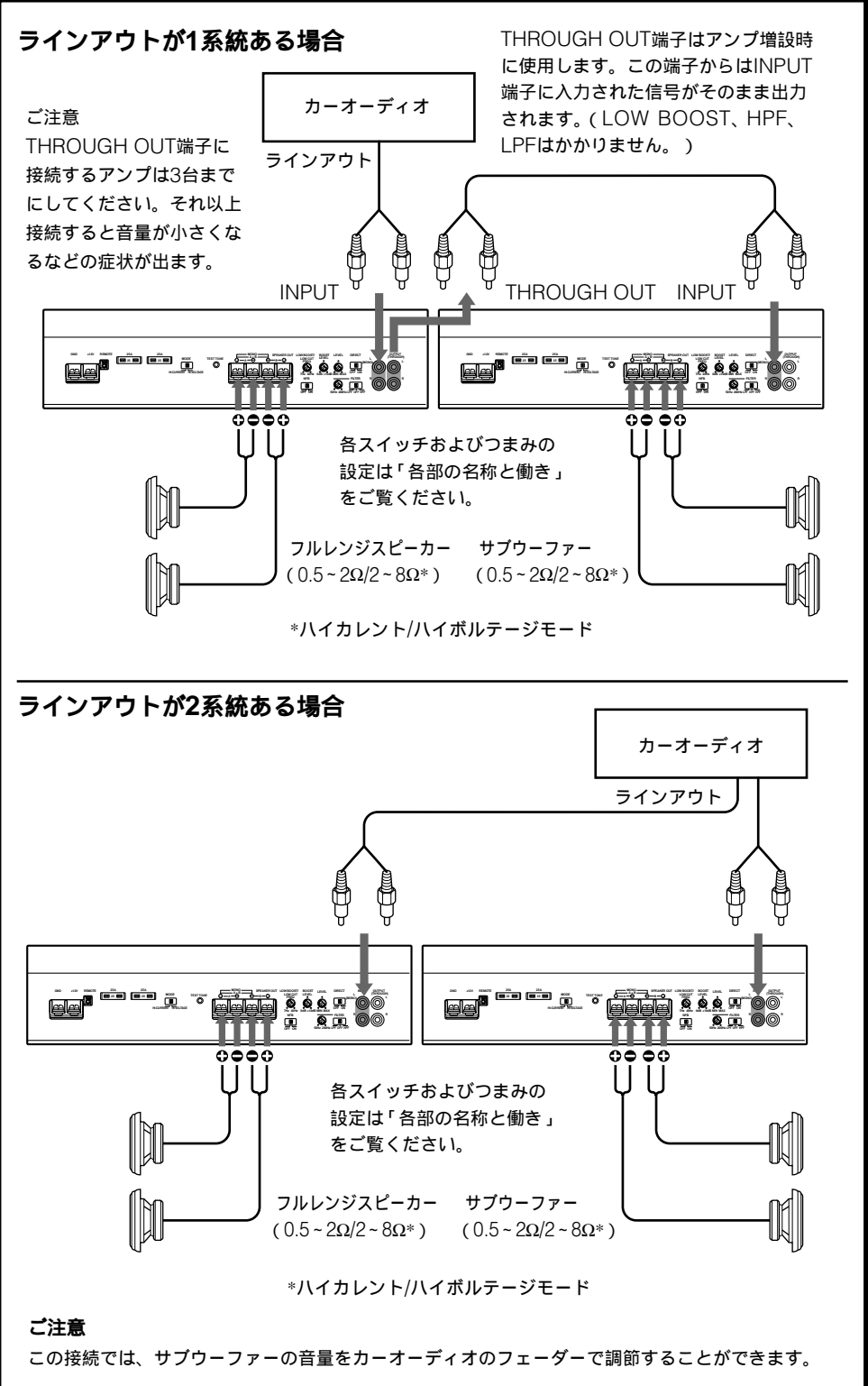
## モノラルアンプとして使う(ブリッジ接続)



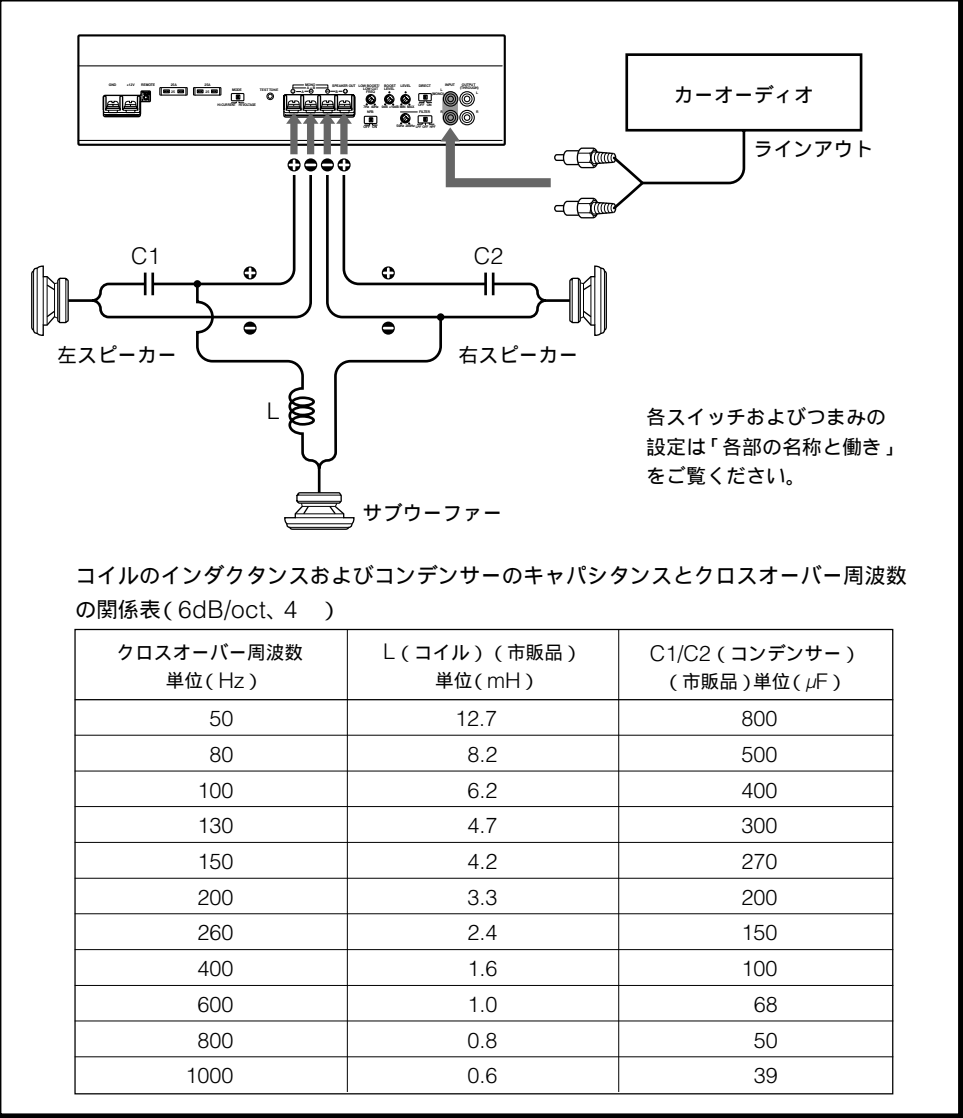
## サブウーファー用モノラルアンプとして使う(ブリッジ接続)



## 2ウェイシステムの接続



## デュアルモード接続



- ご注意**
- パッシブクロスオーバーネットワークを用いてマルチウェイスピーカーシステムを組む場合、システム全体のインピーダンスが適合インピーダンス以下にならないようにご注意ください。
  - コンデンサーとコイルを直列に組み込んだ12dB/octのパッシブクロスオーバーネットワークを設置する際には、かならずスピーカーを接続してください。スピーカーの◎/◎端子のどちらか一方でもはずれていると、共振周波数付近のインピーダンスが低下レシートに近い状態になるため、異常発熱や故障の原因になります。